



# 東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

## 東京学芸大学附属図書館かわらばん No.9

メタデータ	言語: ja 出版者: 東京学芸大学附属図書館 公開日: 2023-12-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京学芸大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.50889/0002000169">https://doi.org/10.50889/0002000169</a>

## 「E-TOPIA：教員を目指す学芸大生のためのページ」 を公開しました！

2023年3月に「E-TOPIA（イートピア）：教員を目指す学芸大生のためのページ」を公開しました。教員志望の学芸大生にとって参考となる情報をまとめて提供するページです。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/etopia>



## ここがポイント！ E-TOPIA（イートピア）



### ● 映像コンテンツに関する情報を紹介

- ・「教師」の魅力発信プロジェクト  
YouTube動画（学芸大作成）
- ・「21CoDOMoS」（学芸大作成）など
- ・教材利用可能な映像コンテンツ

### ● 授業支援プラットフォームに関する情報を紹介

- ・「Google Classroom」  
「Microsoft Teams」  
「スクールタクト」  
「ロイロノート」  
などの授業支援プラットフォーム
- ・附属学校での利用状況まとめ

### ● お勧め図書リストを紹介

- ・「教師の魅力」図書リスト
- ・進路・キャリアを考えるための  
図書リスト

教員を目指す過程で知りたい！  
使える！情報をまとめて紹介

The screenshot shows the E-TOPIA website interface. At the top, there is a navigation bar with links for '利用案内', '資料検索', '学習・研究支援', 'コレクション', '学外の方へ', and '附属図書館について'. The main content area features a large banner with the text 'E::TOPIA 教員を目指す学芸大生のためのページ'. Below the banner, there is a section titled 'E-TOPIA（イートピア）は、教員を目指す学芸大生のためのページです。教員志望の学生にとって参考となる情報をまとめて提供します。' followed by a list of features and resources. The '教職について知る' section includes '教師の魅力' and '教育関係のニュースや情報'. The '授業実践について知る' section includes '教育映像コンテンツ'. At the bottom, there is a section for '教科・主題別の図書'.

## 学習サポート主催！秋学期デジタル教科書セミナーの開催報告

本学では、ICTセンターおよび附属図書館で大学教員と、大学教員の指導のもと学生が利用できるデジタル教科書の整備を進めています。2022年4月からは図書館内で利用できるデジタル教科書が大幅に増えました。それに伴い、今年度は附属図書館学習サポートがデジタル教科書や電子黒板の使い方を学べるデジタル教科書セミナーを企画・実施しました。秋学期は6回開催し、春学期開催分の4回と合わせると2022年度は全10回開催しました。秋学期のセミナーでは、より参加者がデジタル教科書の活用について考えられるようにグループワークを取り入れ、テーマに合わせてデジタル教科書について議論しました。デジタル教科書の利点と改善点を考え直す良い機会となりました。来年度も継続して開催予定ですので、ぜひご参加ください！



### 2022年度秋学期学習サポート主催デジタル教科書セミナー

セミナー名	開催日時	開催報告
比べてみよう！デジタル教科書と紙の教科書の違い	11月16日（水） 14:45-15:45	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221116-0">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221116-0</a>
この單元ってデジタル教科書どう使うの？ー生活科・図工からー	11月30日（水） 16:10-17:10	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221202-0">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221202-0</a>
デジタル教科書と個別最適化ーすべての子どもを取り残さないためにー	12月7日（水） 14:45-15:45	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221209">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221209</a>
デジタル教科書のメリット・デメリットー学習者用デジタル教科書からー	12月21日（水） 14:45-15:45	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221222">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221222</a>
附属校！デジタル教科書のリアルー実習生と附属校教員の声からー	1月11日（水） 14:45-15:45	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20230113">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20230113</a>
デジタル教科書の活用ー楽しい授業を創るためにー	1月25日（水） 13:00-14:00	<a href="https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20230127">https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20230127</a>

## 2022年度秋学期学習サポータ展示「新書ZOO」

図書館1階ラーニング commons のつみ木ばこにて、2023年1月から「新書ZOO」を開催中です。

新書に親んでもらうために、動物園のような形で新書とふれあい、表紙デザインのクイズや出版社比較を通しながら気軽に見ていただける展示となっております。

普段は図書館2階奥の新書コーナーに配架している新書を、学習サポータが分野ごとに数冊ずつ選んで配架しました。

今まであまり新書を読んだことがない方も、次に読む新書を探している方も、ぜひ「新書ZOO」にご来園ください。

当展示は2023年7月まで実施予定です。

学習サポータの活動に関する情報

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/supporter>



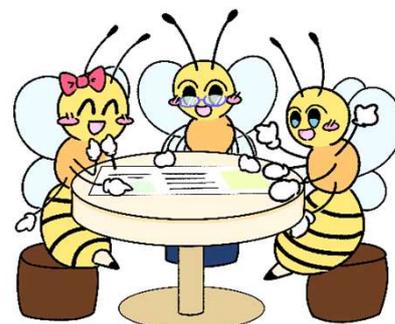
## 第7回全国学生協働サミットに学習サポータが参加しました！

第24回図書館総合展内のイベントである第7回全国学生協働サミット（11月29日開催）に附属図書館学習サポータが参加しました。当サミットでは、学生協働に携わる大学生や高校生が集まり、それぞれの活動の紹介や情報交換を行いました。

参加した学習サポータは、「自分たちとは違った活動をしている団体を知ることができ、勉強になった」、「学生の立場を活かした活動を今後もしていきたい」と話していました。他校の活動を知り、そして同じような活動をする学生と交流をすることができたことで、今後の学習サポータの活動を考えるよい機会となりました。

(参考)

- ・第7回全国学生協働サミット  
<https://www.libraryfair.jp/forum/2022/499>
- ・東京学芸大学附属図書館学習サポータ（全国学生協働サミット発表の場）  
[https://www.libraryfair.jp/student\\_summit/2022/13](https://www.libraryfair.jp/student_summit/2022/13)



## 【パネル展示】電子ジャーナルを使ってみよう！

2022年11月14日～12月2日の期間、電子ジャーナルの利用促進のため、附属図書館の新书推荐コーナーにて、電子ジャーナルを紹介する展示を行いました。

電子ジャーナルとは、学術雑誌が電子化されたものです。東京学芸大学では、約9600誌の電子ジャーナルが利用できます（2022年度時点）。さらに、インターネット上で無料公開されている日本の学会誌などもあります。

今回の展示では、電子ジャーナルの探し方や使い方、学芸大生向けお薦め電子ジャーナルの紹介を行いました。展示期間は終了しましたが、配布資料の電子ジャーナル利用案内と学芸大生向けお薦めリストは、附属図書館ウェブサイトで公開しています。学習・研究、授業研究や教育実習の準備等にぜひご活用ください。



・電子ジャーナルを使ってみよう！  
(利用案内)

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/sites/default/files/2022-11/EJ-tenji-guide-202211.pdf>



・電子ジャーナルを使ってみよう！  
(たとえば こんな電子ジャーナル)

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/sites/default/files/2022-11/EJ-tenji-list-202211.pdf>



アクセス上位タイトル  
(2022年)

- 1 Computers & Education
- 2 Angewandte Chemie
- 3 PLANT SPECIES BIOLOGY

## オープンアクセスウィーク広報2022

世界中で毎年行われるオープンアクセスへの関心と議論を深めるためのイベントである、「オープンアクセスウィーク」(2022年10月24日～30日)にあわせて、図書館各所にポスターを掲示し、附属図書館ウェブサイトやTwitterでも、オープンアクセスの概要説明、図書館による「東京学芸大学リポジトリ」や「東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ」の取り組みを紹介しました。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20221021>



### オープンアクセスとは

オープンアクセスとは、論文等の研究成果をインターネット上で公開し、誰でも無料で自由に利用できるようにすることです。研究成果の可視性が高まり、成果活用の促進につながるとも言われています。

### 図書館による取り組み

附属図書館では「東京学芸大学リポジトリ」での論文公開を進めています。また、さらなる学術情報のオープン化として、「東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ」での教育・研究活動成果のオープン化や図書館所蔵資料の電子公開にも取り組んでいます。

## 【学生展示】「わたし」と「れきし」展

図書館1階ラーニング commons の資料エリアおよびアクティブエリアにて、学生企画の展示を2023年1月20日から2023年2月14日まで実施しました。

当展示は本学の学生が発起人となる「わたし」と「れきし」展実行委員会によって企画され、2021年8月から各地の公共図書館、高等学校、大学等で実施されてきた展示を、自主ゼミ「主権者教育ゼミ」が中心となって当館で実施したものになります。

教科書やその他の所蔵資料も交えながら、自分自身や歴史、平和について考えるコーナーを通して、自己対話や他者対話の時間を創出する展示となりました。



「わたし」と  
「れきし」展  
に関する情報

<https://watashi-to-rekishi.studio.site/>



## 2022年末企画「学芸本ガチャ！」の開催報告

図書と電子ブックの利用促進を目的として、2022年末企画「学芸本ガチャ！～読書の世界を広げよう！～」を開催しました。夏休みにも実施した本企画、今回は、「図書館職員おすすめ！冬休みに読んでほしい本」をメインテーマに図書館職員が選書したガチャガチャカプセルを用意した、「リアルガチャ」を目玉に企画しました。図書館1階ラーニング commons 内に設置され、学生のみなさんにも好評です。

また同時に、2022年12月5日から図書館Webサイト上の特設サイトで、夏休みに公開した3種類に、新たに1種類テーマを加えて“オンラインガチャ”を開設。学生に電子ブックのインフォメーションする機会となりました。次回は4月ごろに開催予定で図書館職員が企画考案中です！皆さんのトライお待ちしております！お楽しみに～♪

(参考)

- ・【開催報告】2022年末企画「学芸本ガチャ！」を開催しました！（2023-01-10掲載）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20230110>
- ・「学芸本ガチャ！」特設サイト（現在も公開中！）  
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/gacha>

## 【附属高校展示】働くことのリアルに迫る

図書館2階展示棚にて、東京学芸大学附属高校の公民授業で生徒が作成した新聞を展示しています。

就活に励む学芸大生へ附属高校生からのメッセージとして、「働くことのリアルに迫る」をテーマに様々な労働問題が取り上げられています。

こちらは投票を通して学芸大生と附属高校生が1つの問題を共に考える展示となっております。

展示をご覧になった際には、ぜひ心に刺さった新聞に投票シールを貼ってみてください。



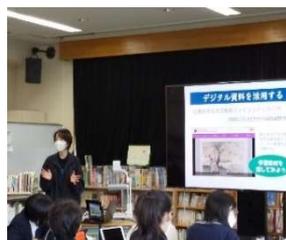
## 教育コンテンツアーカイブを活用した授業実践

東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ (<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/>) では、本学の教育・研究活動成果としてのデジタル画像等を公開しています。附属図書館で所蔵している江戸時代の古典籍の画像が数多く含まれており、学校教育現場で教材として活用できるコンテンツもあります。今年度は、国語便覧にも掲載されるような有名な作品にタグ付けを行い、活用できるようになりました。

附属竹早中学校で菊地圭子教諭による古典発展学習（6時間）で利用してもらいました。中学校3年生が今までの学習を振り返り、古典作品紹介のスライド作成と発表を行う授業です。第1時にはデジタルアーカイブの使い方、第2時には著作権についての説明を学校司書の中村誠子さんから受け、各班に分かれてiPadを使って調べ学習を行い、紹介したい相手意識を持ちながら、スライドにまとめていきます。大学や他機関のデジタルアーカイブを比較しながら、よりイメージの伝わる画像を採用したり、図書資料も使って考えを広げたり、互いに教えあう姿も見られました。第6時には各班での発表会が行われ、作品を鑑賞し合いました。

担当の菊地教諭によれば、生徒が自分だけの端末を自由に使えることは、自分の手の中に美術館・博物館・図書館があるようなもので、デジタルアーカイブを使うことで実際に古典に触れながら学習させることができるようになり、理解度・興味を高めることができたということです。また、大学図書館という世界を知り、上級学校の学びへの興味につながったことも授業実践の成果として挙げておられました。

附属図書館の画像資料は、所蔵館明示・変更した場合の明示をすれば、手続きなく利用が可能です。様々な学習活動にご活用ください。



東京学芸大学教育  
コンテンツアーカイブはこちらから



## 東京学芸大学附属大泉小学校 マルチメディア室紹介

練馬区にある附属大泉小学校は、国際教育に特色を持つ小学校として、国際バカロレア（IB）の初等教育版であるPYP認定校に、令和4（2022）年8月29日、正式に認定されました。認定までの期間にも、学習指導要領に準拠しつつ、国際バカロレアの考え方や、手法を取り入れた、教科の枠をこえた探究的な学びを模索してきましたので、学校図書館も、その学びを支えるべく、区の図書館や、他の附属学校図書館とも連携しながら、資料を収集・提供してきました。子どもたち一人一人が、独自のテーマをもってリサーチをする機会が増えてきたため、先生方との情報共有と、より緊密な連携の必要性を感じています。

学校図書館の正式名称は「マルチメディア室」ですが、短く「マルチ」と呼ばれ、親しまれています。各学年、週に一時間、優先して使える時間が設けられ、特に1～4年生は、定期的に本を借り、読む時間として活用されているので、本の読み聞かせや、ストーリーテリング、ブックトークも行っています。

読書が好きかどうかにかかわらず、学校でもホッとできる一つの居場所として、また、机の形状から、「打ち合わせ・会議」の場所としても、子どもたちに積極的に利用されています。



(文責：東京学芸大学  
附属大泉小学校  
学校司書 富澤佳恵子)



『特別な支援が必要な子たちの「自分研究」のススメ: 子どもの「当事者研究」の実践』  
森村美和子著 (金子書房, 2022)

ISBN : 9784760826865

請求記号 : 378/MOR

資料ID : 12022002233

「先生、私ってへんかな?」「ぼく、普通と違うよね?」  
他の友だちと同じようにできなかったり、あるいは違いを感じてしまったりすると、子どもたちは「困ったこと」だと、ネガティブな印象で捉えてしまいがちです。

しかし、世の中では「困ったこと」があるのは発見、探究のスタートです。私たちの身の回りの便利な製品や発明などは、「困ったこと」があるからこそ生み出されたものばかりです。

それなら、自分の中の「困ったこと」を、自分自身で研究していったらどうだろう!何か新しい発見があるかも!なんだけ、すごくポジティブになりますね。

小学校の特別支援教室(通級指導教室)のベテラン教員である著者は、「困っていることや学び方などを自分で研究し、先生や仲間と一緒に対処方法を考えていく活動」を「自分研究」として「教室を研究所に見立て、子どもたちを研究員、先生を共同研究者として活動を進める」実践を行っています。例えば、「不安タイプの『泣き虫ゴースト』の研究」「しゃべりすぎてしまう『ペラペラノドン』の研究」など・・・実際に小学生の子どもたちが取り組んだ研究例は、とてもポジティブでワクワクします!

## ～教員の皆様へ～ 自著の寄贈および図書の推薦をお願いします!



附属図書館では、図書館2階に本学教員自著コーナーを設置し、教員の皆様からご寄贈いただいた自著を展示しています。コーナーでは、学系ごとに本を配置し、一部の本は寄贈していただいた先生のお名前とともに展示しています。

教員の皆様、学生たちに先生方の素晴らしい著書を手にとってもらうために、ぜひご寄贈をお願いいたします!



寄贈者所属別の寄贈冊数(2023年2月まで)

寄贈者の所属	寄贈冊数
総合教育科学系	25冊
人文社会科学系	51冊
自然科学系	7冊
芸術・スポーツ科学系	11冊
その他(センター、名誉教授等)	16冊
合計	110冊

また、図書館では、教員の皆様に、図書館の所蔵とし、学生が読むべき図書・電子ブックの推薦をお願いしております。推薦の対象となるのは、担当教科や授業で必須となる基本図書や、学生の学習・研究や教養の向上に資する図書などです。ご推薦は随時受け付けております。詳しい推薦方法につきましては、図書館ホームページに掲載していますので、ご一読いただけますと幸いです。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/guide/faculty/recommend>

図書館  
かわら  
ばん

図書館かわらばん No. 9

2023年 3月 24日 発行

東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226

URL:<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

東京学芸大学附属  
図書館公式Twitter  
では図書館に関わ  
るお知らせについ  
ていち早く発信し  
ています。



[www.twitter.com/gakugei\\_lib](https://www.twitter.com/gakugei_lib)